



筑波大学 比較文化学類

College of Comparative Culture, University of Tsukuba

令和5年8月6日(日)

令和5年度(2023)受験生のための筑波大学説明会 比較文化学類への招待



人文・文化学群 比較文化学類

<http://www.hibun.tsukuba.ac.jp>



ようこそ筑波大学へ Imagine the Future

- ◆ 明治5年(1872)開設の師範学校, および東京高等師範学校, 東京文理科大学, 東京教育大学を前身とし, 昭和48年(1973)10月に**新構想の総合大学として「筑波大学」**開学
→令和5年(2023)開学50周年
- ◆ 研究大学: **指定国立大学法人, RU11**
- ◆ **未来構想大学: 想像(imagine)／創造(create)**
- ◆ 教育組織(学群/大学院)と研究組織(系)との分離
9学群 23学類制
- ◆ **学群生・大学院生は約16,500人(留学生約2,400人)**



筑波大学の教育力：教育の保証

- ◎コミュニケーション能力
- ◎批判的・創造的思考力
- ◎データ・情報リテラシー
- ◎広い視野と国際性
- ◎心身の健康と人間性・倫理性
- ◎協働性・主体性・自律性

→豊かな履修科目(他学群・他学類の履修が可能)

充実した教養科目(外国語, 国語, 情報などによるアカデミック・リテラシーの育成)

厳格な成績評価(単位の上限下限, GPA制度)

◆ グローバル人材の育成

英語プログラム, 英語による講義

交換留学: 協定校(全学で377の大学・研究機関)

留学生: 約2,400人(国立大学で有数)



学年暦のイメージ

◆ 2学期・6モジュール制

春学期(4月～8月初旬) 秋学期(10月～2月中旬)
学期にそれぞれ5週間ずつ, A・B・Cの3モジュール

◆ 1時限の授業時間は75分

1時限 8:40開始 昼休み 11:25～12:15 6時限 18:00終了

- 講義・演習 1単位＝10時限授業＋試験(レポート)
- 比文では124単位で卒業



求める人材像

◎自らの問題意識を出発点として，さまざまな学問領域に関心を寄せながら，文化・社会について広く柔軟に学ぶ意欲を持つ人

◎異文化理解に裏付けられたグローバル・コミュニケーション能力を身につけようとする人

◎海外経験・社会経験などを通じて得た問題意識を学問的に深めたい人



比較文化学類の教育理念

- ◆ 現代社会に関わる諸問題を理解し，専門知識や方法論を身につけ，直面する様々な課題を解決できる能力をもつ人材の育成
- ◆ 現代性・学際性・国際性：広い視野
 - 文化事象の理解力
 - 文化的現象の分析力
 - 文化的課題への対応力
 - 国際的なコミュニケーション能力
 - 国際的な主体性



比較文化学類学修の基本

- ◆ 比文 HIBUN では何ができるんでしょうか？
→好きなこと！
- ◆ 好きなこと、関心があることを「**学問**」にできる
- ◆ 学修(必修科目以外)の内容・過程・方法は、
原則として**自由**に選択することが可能
- ◆ **文学・音楽論**を専門にすることができる唯一
の学類



学士(比較文化)へのマイルストーン



文理に跨がる広い分野の教養を身につけるとともに、人文学を学ぶための基礎スキルを修得する



文化研究の専門基礎・知識を学修しながら、自らの関心にあう専門の領域・コースを選択する。



専門を体系的に深めつつ、卒業研究を構想し、領域・コース・指導教員を決定する。



コース・指導教員のサポートを受けながら、卒業研究を遂行し、卒業論文を完成する。(原稿用紙約100枚)



1・2年次の学修

◆ 基礎的な能力の養成

アカデミック・リテラシーの獲得：外国語・情報・国語

第1外国語：英語(3年次まで必修)

初修(第2)外国語：独 仏 中 西 露 朝 + 古典語
(2年次まで必修)

◆ 多面的な知識の獲得

1年次：領域・コースの比較文化研究・概論科目の履修

2年次：概論科目・専門導入基礎演習の履修

専門科目(講義・演習・実習)の履修開始



3・4年次の学修

◆ 専門的・体系的な知識の獲得

専門科目(講義・演習・実習)の履修

◆ 卒業論文による集大成

3年次:所属する領域・コース・指導教員の決定

卒業論文基礎演習—研究計画案作成

4年次:卒業論文演習—コース・指導教員(複数)のもと

卒業研究の遂行

卒業論文中間発表会の実施

卒業論文の執筆・完成 →発表会(口頭試問)



“選択”の自由を保障

卒業までに

- 自分の **領域** から最低**10単位**をとる
- 自分の **コース** から主指導教員を選ぶ

成績に応じて・・・

履修科目登録の上限緩和制度

早期卒業制度

グローバル人材育成事業制度



比較文化学類の領域・コース





比較文化学類のコスモス説明

- ◆ 比文では学びの手がかりとして、地域のもつ固有性にこだわる**地域文化研究**，地域を横断して現象や思想に注目する**超域文化研究**という**2つの領野**に分け，さらにそれぞれ3つ，**合計6つの領域**を設けています。地域文化研究領野には，日本・アジア，英米・ヨーロッパ，フィールド文化，超域文化研究領野には，表現文化，文化科学，思想文化の各領域があり，さらにその下に**17のコース**が置かれています。



比較文化学類のコスモス

自分の好奇心を探究していく！

比較文化学類で 何を学ぶか





領域とコース

大学では履修上に各種の制約があるのが普通ですが、比文の学びは、それらとかなり異なります。比文は自由、とよく言われていますが、卒業までに求められるのは、所属する領域から最低10単位を修得すること、所属するコースから主指導教員を選ぶこと、基本はこの2つだけです。



筑波大学 比較文化学類

College of Comparative Culture, University of Tsukuba

さらに詳しく知りたい方へ

◆『比較文化学類への招待 2024』

◆ web版

[http://www.hibun.tsukuba.ac.jp/
data/doc/1657696402_doc_40_0.pdf](http://www.hibun.tsukuba.ac.jp/data/doc/1657696402_doc_40_0.pdf)

◆比較文化学類 ホームページ

◆<http://www.hibun.tsukuba.ac.jp/>

◆比文各領域・コースの教員情報、卒業論文の題目も参照してください。

筑波大学
University of Tsukuba



COLLEGE OF COMPARATIVE CULTURE

比較文化学類への招待





特色 1. グローバルな文化の探求

- 外国語を学ぶ 外国語で学ぶ
- 外国の文化を学ぶ
- 日本の文化を紹介する基礎を学ぶ
- 外国人教員・留学生と学ぶ

ティーチング・アシスタントやティーチング・フェロー
の大学院留学生が指導を補助する国際交流活動

- 各国への長期・短期留学：在学しながら海外へ
- カナダ プリンス・エドワード島大学での国際研修
や短期留学



特色2.臨地実践型実習教育

- 教室の学修と連動した日本研究，文化人類学，文化地理学，文化創造論，比較宗教など各コースの実習授業（臨地・実践的なフィールドワーク）
- 地域実地調査（資料・地図収集，景観観察，聞き取り・アンケート，有形・無形の文化財調査。事前・事後学習）。文化活動の実践。



就職・キャリア

- 多方面での活躍

国家・地方公務員，中学校・高等学校教諭，博物館・美術館学芸員，企業

その道を究めて：SE(ゲーム開発)，漫画家など個性ある，多様な生き方

- 大学院への進学

筑波大学のほか，東京大学・京都大学・早稲田大学・海外大学などの大学院へ

→卒業生には大学教員・研究機関研究員なども多数



ご清聴ありがとうございました。
ご入学をお待ちしております。